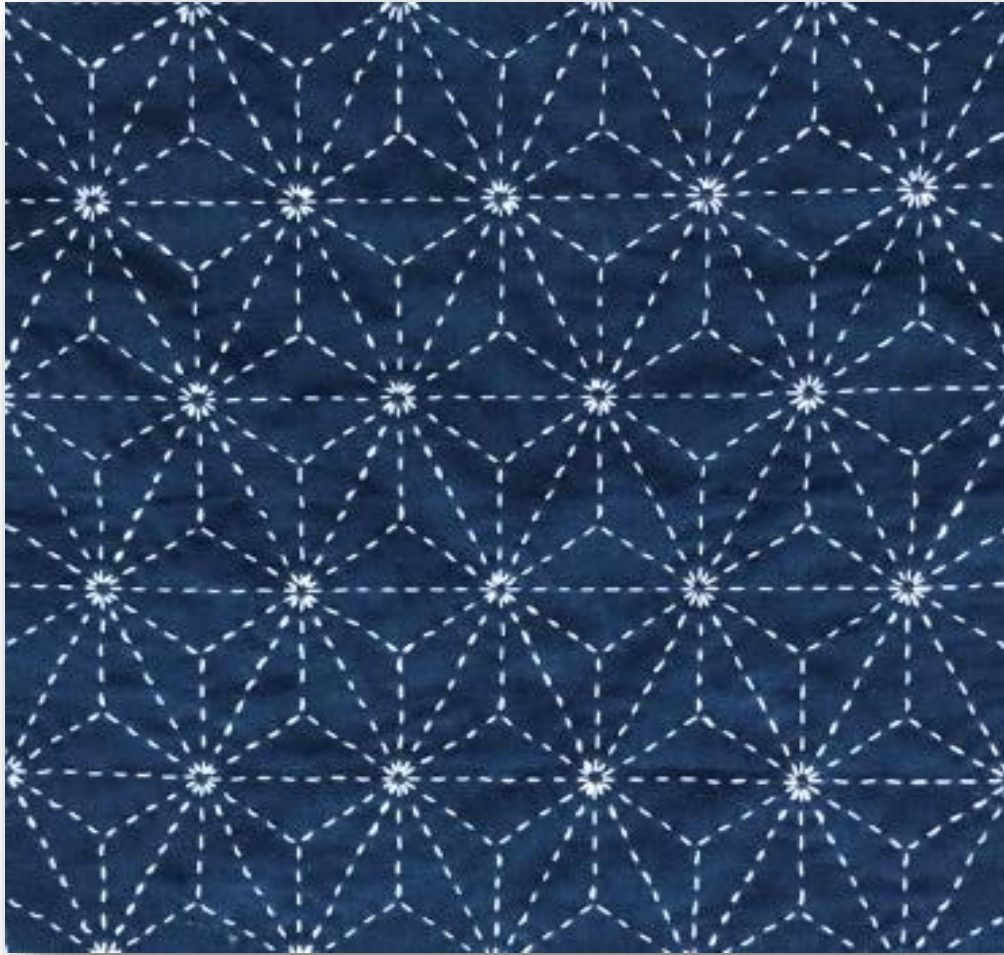


伝統的な模様

伝統的な模様の 意味を知ろう

- ・ 麻の葉（あさのは）
- ・ 七宝(しっぽう)つなぎ
- ・ 菱（ひし）
- ・ 亀甲（きっこう）
- ・ 青海波（せいがいは）
- ・ 矢羽根（やばね）

麻の葉（あさのは）



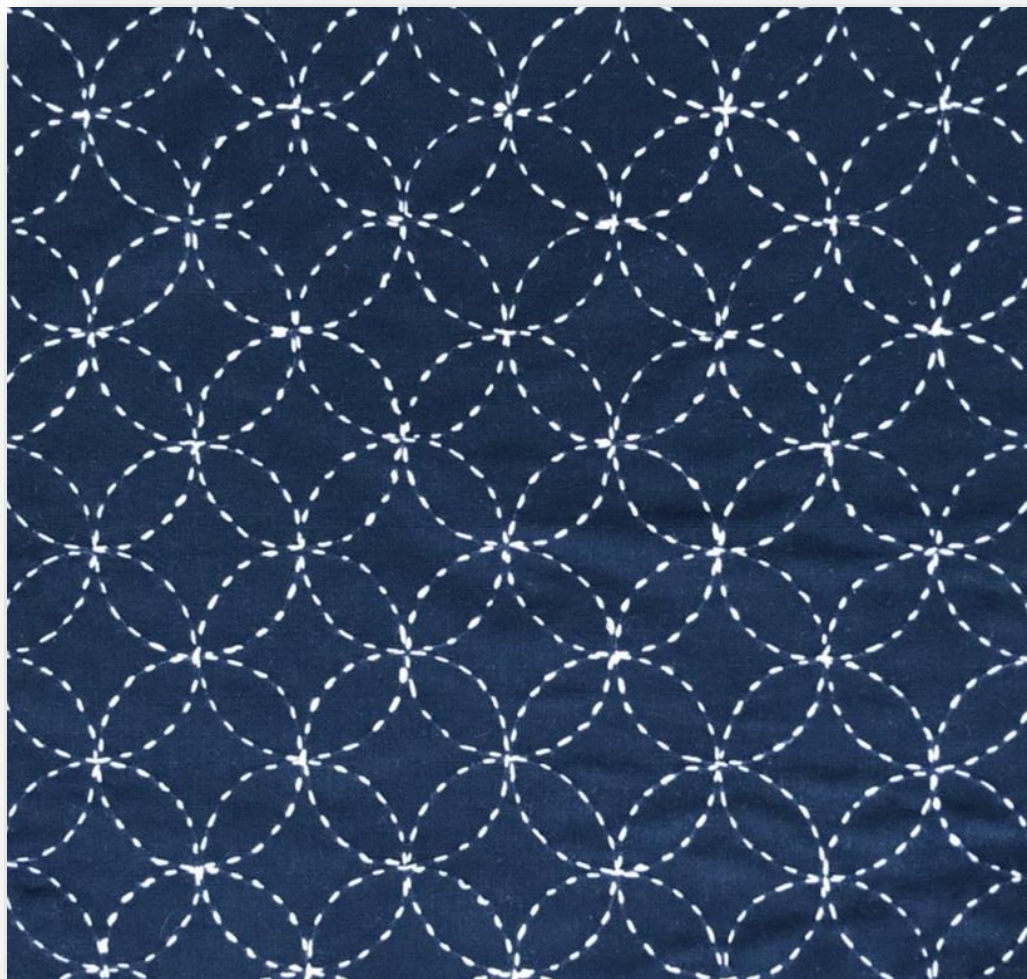
- 六角形を基本として水平・垂直・斜線により分割した幾何学模様。
- 麻の葉に形が似ていることから、名付けられた。
- 麻は丈夫ですくすくと真っすぐに伸びることから、子どもの産着に用いられる。



（麻の葉） 大麻博物館より提供

（産着）

七宝(しっぽう)つなぎ



- 同じ大きさの円を4分の1ずつ重ねて繋げた模様。
- 七宝の円形は円満を表し、縁起のよい模様とされる。



女兒用和装バッグ

菱（ひし）



- 二方向の平行線が重なってできた「菱（ひし）形」を基本とした模様
- 菱はヒシ科の水性一年草で、その実の形を表した模様である。



（菱の葉・実）



（菱餅）

〔 桃の節句では子供の成長を願い、菱の実を砕き混ぜ入れた「菱餅」を食べる風習がある。 〕

亀甲（きっこう）



- 正六角形を繋(つな)げた模様。
亀(カメ)の甲羅(こうら)に似ていることから名付けられた。
- 亀は長寿の象徴であり、めでたい模様とされる。



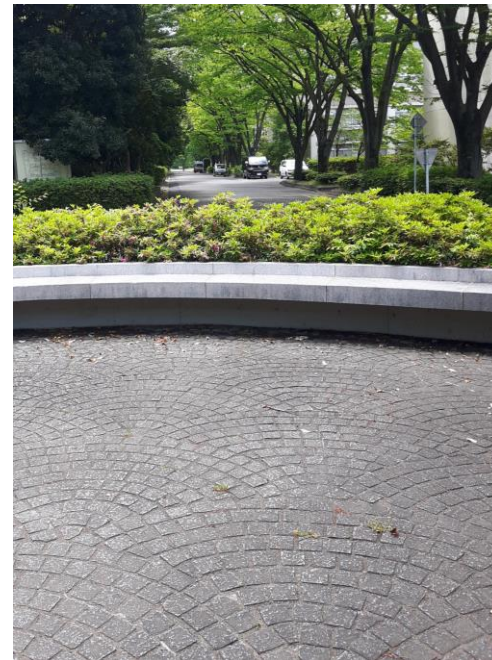
神社の紋章



青海波（せいがいは）



- 同心の円を扇状に重ねた模様。
- 大海原を表し、海がもたらす幸を呼び寄せる模様とされる



キャンパスの石畳



埴輪(はにわ)

矢羽根（やばね）



- 矢の羽根の形を表した模様。
- 矢羽根には 魔を払う（破魔矢）の意味がある。



袴姿で記念撮影



破魔矢

(参考) 振袖にも伝統的な模様が用いられている



参考文献

小学館辞典編集部（1981-1995）『文様の手帖』 小学館 .

視覚デザイン研究所・編集室（2000）『日本・中国の文様事典』 視覚デザイン研究所

小山賢一（2008）『デザイン素材集・日本の文様』 誠文堂新光社

大麻博物館・asanoha lab（2019）『麻の葉模様』

（吉田七海、高橋美登梨、川端博子制作）